

〈ねらい〉

私たちの目に見えるところは一部分だが、神様はすべてを知っておられる。すべてを働かせて益としてくださる神様が共におられることを教えたい。

〈展開例〉**1. どうしてこんなことが起こるの？**

病気や事故、地震など、ある日突然、悲しいことや辛いことが起こります。そんな時、「神様、どうしてなのですか」と聞きたくになります。

「それは、あなたが悪いことをしたからだ」という人もいます。「あなたのお母さんやお父さんが悪いことをしたからだ」という人もいます。またある人は、「神様は意地悪な方だから、こんなひどい目にあわせるんだ」と言います。

みんなはどう思いますか？ 神様は意地悪なお方なのでしょうか。

2. 私たちには一部分しか見えない

（子どもがまだ見たことのないジグソーパズルを用意する。完成させたジグソーパズルからいくつかのピースを取り外しておく。いくつかの外したピースだけを見せながら）

ここにあるいくつかのピースだけを見て、このジグソーパズルが完成したらどんな絵になるかわかるかな？ これだけのピースでは、最後にどんな絵になるのか、わからないよね。

じゃあ、このピースをはめて絵を完成させてみましょう。（ピースをはめる）

ほら、こんな素敵な絵ができました。

私たちが目に見えている一つひとつの出来事は、このジグソーパズルの小さなピースのような

ものです。

私たちには小さな部分だけしか見えていないので、どんな絵が出来上がるのかわからないのです。どんな絵が完成するのかを知っておられるのは神様だけです。

3. すべてを益としてくださる

完成したらどんな絵になるのかわからなかったら、パズルを組み立てるのは、とても難しいよね。でも、安心してください。組み合わせさせてくださるのは神様だからです

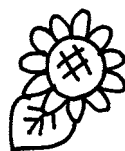
神様には、「あっ、これじゃない、間違った」ということはありません。どんな順番でピースを並べていけばよいのかもよくご存知です。

たとえどんなに小さなピースでも、それがなければ絵を完成させることはできません。どんな小さなことでも、また、つらい出来事でも、神様のみ手の中にあることを覚えましょう。

神様はすべてのことを働かせて、私たちに一番良いことをしてくださるお方です。

4. ジグソーパズルで遊ぼう

幼児でもできるジグソーパズルと一緒に遊ぶ。（時間内で終わるようなもの）



〈ねらい〉

神様は創造後も働き、世界を支えておられること。そして、私たちに起こるすべてのことは益となることを教える。

〈展開例〉

神様は世界の全てのものをお造りになりました。今、神様は何をしているのでしょうか。神様は、好きなことができる方ですから、たとえ、何もしない、寝ている、世界をほったらかして遊んでいる、そうであっても人間は文句は言えませんよ。神様ですからね。

でも、世界を造られた神様は、世界や人を放っておく方ではありません。いつも、力強く私たちを守っている方です。私が神様を忘れていても、神様は私たちのことを忘れません。いつも考えてくださっています。私たちが寝ていても、神様は眠らず私たちを守ってくださっています。（詩121:4、「見よ、イスラエルを見守る方はまどろむことなく、眠ることもない。」）

皆さんは、学校の授業で絵を描いたり、工作をしたりして作品を造りますね。最近作ったものを教えてください。……一生懸命造りましたか。……それでは、それはどこに置いてありますか……。今、この時、どうなっているか知っていますか……。もしかしたら、知らないうちに置き場所が変わっていたり、壊れたり倒れたりしているかもしれませんよ。実は、作品は神様にとっては私たちのことです。

みんなは作品を一生懸命つくったと思います。さて、作り終わったら、どうしますか。作品のことを忘れて、放って置いたりしてしまいます。別に悪いことはありませんが、人間は一度にいろんなことはできないわけですね。でも、神様は一度に無限のことをなさることができるので、どこにいる人のことでもいつでも守ってくださって

います。

あと、注意しておくことがあります。今は、大自然の仕組みがすごく分かってきているけども、神様が世界を造るところまでやって、時計仕掛けのようにあとは自然の力に任せて自分は何もしないというのは間違えです。神様は、今もなお世界を支え続けておられます。

さて、今も神様が世界を支えているのに、ひどいことや悲しいことが起こる理由は何だろう、と不思議に思う人がいるでしょう。その理由は神様にしかわからないことです。神様はすべてのことを人に教えてはいません。なんで起こったのかはわからなくても、起こったこと役に立つことを神様は教えています。神はすべてのことが救いのための役立つと教えています。

ローマ8章28節と一緒に読みましょう。万事とはなんでしょうか……。

神様は私たちからすべての問題や失敗をとりのぞくわけではなく、そういうことを通して神様をすることがもっとできるようになり、もっと神様に従えるようにされていくんです。

最近、困ったことや失敗したことはありますか？ その時は悲しいけど、その事があってよかったと後になって思ったことはありませんか……。先生はあります。（教案誌 No.40、p.74他、小学科上級展開例を参照。）けれども、それは神様はますます信仰に生きられるためにしてくださったことだと思っています。神様は今も生きて働かれていますね。

〈お祈り〉

神様、私たちを守ってください、今もこれからも守ってください感謝します。いろんなことが私たちに起こっても神様が私たちに必要なことをしてくださっていることを信じさせてください。

〈ねらい〉

神さまのご摂理により、すべてのことが共に働いて益になることを知り、喜ぶことができる。

ではなく、互いに関わり合って仕事をする。

「益」って、何？→善いこと。役に立つこと。無駄ではないこと。

〈展開例〉

(1) 暗唱聖句の穴埋めをしよう。

(2) 言葉の意味を考えよう。

「召される」って、何？→身分の高い人からそば近くに呼び寄せられる。招かれる。

「①神を愛する者たち」＝「②ご計画に従って召された者たち」である。「①」「②」をそれぞれ丸で囲んで「＝」で結び、視覚的に理解を助けるとうい。

「神さまのご計画」って何？→神さまが永遠の昔から決めておられる聖いご計画。これを摂理と呼ぶ。（板書すること）

「万事」って、何？→すべてのこと。

「共に働く」って、どういうこと？→ばらばら

(3) やってみよう。

「すべてのことがばらばらではなく、互いに関わり合って働き、ひとつも無駄ではなく、役に立っている。神さまってすばらしい！」と思ったことがあるか話し合う。子どもから出ない場合、教師の経験や、子どもについて教師が気づいている経験を話してあげてもよい。子どもが気づいていないだけで、そのような経験はたくさんある。神さまのご摂理に感謝できる毎日であるように祈る。

(4) 歌おう。

「神さまをさんびしよう」（二宮忍）

ホームページから楽譜と楽曲のダウンロードができます。http://ogaki-ch.com/ss_text/46

あんしやうせい く

暗唱聖句（ローマ8章28節）

月 日 名前

○を愛する者たち、つまりご に従って

召された者たちには、万事が

益となるように に働くということを、

わたしたちは っています。

神 計 画 共 知

（中学生の皆さんに、キリストの道の急所をつかんでほしいと願って、この原稿を書いています。対話の起点にしてください。）

「神の全能の力、窮めがたい知恵、無限の善は、その摂理の中によく現れ、最初の墮落やその他すべての御使いと人間たちの一切の罪にまでおよんでおり、しかも単なる許容によるものではなくて、多様な配剤において、神ご自身のきよい目的のための、最も賢い力ある制限や、その他の秩序づけと統治がそれに伴っている。しかもなおその場合の罪性はただ被造物からだけ出て、神から出るのではない。最もきよく正しくいます神は、罪の作者でも是認者でもないし、またありえない。」（ウ信仰告白5章4節）

「一切は混乱し混沌と化したように見られても、その時に天上は常に静穏で晴れ晴れとしている。それゆえ、世界の物事が混乱して我々の判断が奪われる時にも、神は義と知恵の純粹の光によってこの激動を最も良く整えられた秩序に收拾し、正しき目的に至らせたもうと確信すべきである。」（カルヴァン『綱要』第1編17:1）

どんなにつらいことも苦しいことも、喜びへと通じさせてくださるのが、あるいはどんなに人間が悪を働いても、すべてを導いて善に変えていかれるのが、私たちの神様だと、教えられましたね。そんな主の「摂理」を信じることができるのは、信仰者の「最高の幸い」だって、カルヴァンという先生は言いました。

みんなはこの幸いを実感したことはありますか？ ここで分かち合いましょう。（可能であれば、教師自らの、あるいは誰かから伝え聞いた証しを示してあげてください。）

人間には、神様の考えておられることのすべては分かりません。どうしてこんなことが起こるのか？ と言いたくなる様な出来事がしばしば起こります。「どうしてアダムとエバは墮落したのか？」誰もが聞きたい問いですね。「神様は人間を命令だけに従うロボットとして創られなかった、自由な存在に創ってくださった。でも人間はその自由を間違えて使って、墮落の道を選んできました。」これは聖書から導き出される模範解答です。でもこれを聞いても、先生は全然納得できません。みんなはどうか？

「どうして？ なぜ神様はこんなことを……」という問いは、人間が永遠に問い続けるものでしょう。でも、神様の考えておられることをすべて知りたいと願うのは傲慢なことですし、そんなことは不可能です。また必要ありません。むしろ大切なことは、どんな出来事が起ころうとも、それはすべて神様の「全能の力、窮めがたい知恵、無限の善」によって定められたものであって、すべては「きよい目的」の実現のために用いられると“信じる”ことです。

神様は、人間の犯したどんな反逆も過ちも悪も、また私たちが味わねばならないあらゆる悲惨な出来事も、すべてを善に変えて用いてくださる方です。イエス様を十字架にかけてしまったのは人間の最大の罪ですが、神様はその罪さえも用いて、私たちの救いを実現してくださった方です（使徒2:23-24、4:27-28）。大いなる神の御手に人生を委ねて、平安の中でありましましょう。

（本原稿は、2010年9月5日「摂理の主の勝利」における、筆者記述の小学科上級の分級展開例を一部改変して使用しました。ご容赦ください。）

神の子ども

